

## 第46期（平成29年度） NEP工業会総会・春季研修会 概要報告

第46期（平成29年度）通常総会、経営者研修会ならびに春季研修会が以下のとおり開催された。

- 開催日 : 平成29年 6月15日（木）、16日（金）
- 開催場所 : 新・都ホテル（京都）
- 総会出席社 : 57社（会員社61社 白紙委任4社）

### 1. 第46期通常総会 6月15日 14:00～15:00

#### (1) 荒川会長挨拶

開催にあたり挨拶した荒川会長は、「昨年度から始まったi-コンストラクションは、本年度が前進の年と位置付けられ、スピード感を持って進められている。その一環として、特定の構造物における在来工法とプレキャスト工法の比較では本体工事だけでなく多角的な比較方法をもってコストの検討を行うよう求めている。我々プレキャスターにとっては画期的な施策である一方、仮設費や交通管理費など従来十分に行っていなかった積算業務について速やかに対応する技術が不可欠になる可能性を考慮すると、設計業務全体のレベルアップと効率化を図る必要がある」と指摘した。



またNEP工業会の活動状況では「運営委員会・商品開発委員会が中心となり、経営者研修会と年二回の研修会を開催した。平成28年度の工業会取扱製品の合計販売高は前期比約7%弱減の18億4000万円となり、累計販売額は1213億円となった。今年度は、従来以上に環境変化の速い建設業界に合わせたテーマを掲げ取り組んで行くと共に、大臣認定擁壁の権利会社に対する国土交通省の指摘事項に関して、当工業会ではニューウォルコン部会を立ち上げ、品質向上に努めていきたいと考えている。今年の秋には当工業会の前身であるNEPグループの設立から45周年を迎えることを受け10月中旬に、製品化率が高いオランダと、欧州版i-コンストラクションの国際会議&展示会が行われるイタリアへ海外視察研修を企画しているので参加をお願いしたい。この2日間が皆さんにとって有意義なものとなることを祈念している」と述べた。

#### (2) 議案審議

荒川会長を議長に選出して、次の第1号～第5号議案の審議を行った。

第1号議案 平成28年度 事業報告

・運営委員会 ・商品開発委員会 ・本部

第2号議案 平成28年度 収支決算報告

平成28年度 会計監査報告

第3号議案 会員資格の承認

(1) B種正会員昇格(1社)の承認

(2) 準会員入会(3社)の承認

(3) 会員資格承継(2社)の承認

第4号議案 平成29年度 事業計画(案)

・運営委員会 ・商品開発委員会 ・ニューウォルコン部会

第5号議案 平成29年度 収支予算(案)

第1号議案～第5号議案まで、全て原案通り可決承認され閉会した。

閉会后、優秀会員表彰では、NEP 工業会取扱商品の販売に貢献した次の5社が表彰された。

- 1) 東京セメント工業(株)
- 2) 會澤高圧コンクリート(株)
- 3) (株)武井工業所
- 4) 東栄コンクリート工業(株)
- 5) (株)柏木興産

## 2. 経営者研修会 (131名が参加) 6月16日 15:30~17:00

- ・演題: 「リーダーの考え方」～誰でもやればできる～
- ・講師: 日本体育大学 名誉教授 学校法人武相学園 理事長 清原 伸彦 様



清原氏は、70名の学生が号令に合わせて芸術的とも言える一糸乱れぬ動きでフォーメーションをさまざまに変化させる「集団行動」の指導者として世界的な名声を博している。また日本体育大学水球部の監督として独自のトレーニング法で指導を行い、1974年から1994年まで公式戦376連勝という記録を打ち立てた日本水球界の名将でもある。

清原氏は、生い立ちから3歳で母親を亡くし父親の影響を大きく受けた少年時代、日体大への進学、未経験であった水球の指導など、これまでの歩みを振り返りながら、指導者としての在り方や考え方について語った。

清原氏の教育方針は「人間としての人格を伸ばす」「情熱と熱意を持って人を教える」「差別をしない」「集団の一員であることがどれだけ大切かを伝える」が基本で、生徒に「学ぶ意識」を持たせることを大切にしているという。その背景にあるのが、大学教授だった父親の清原氏への向き合い方だ。

清原氏は父親に怒られたことがない。父親に何かをねだると必ず理由を述べさせ、その言葉に黙って耳を傾け最後に褒める。結局「お父さんならこう思うぞ」と言い含められて終わるのだが、父親の言葉に納得できたという。

清原氏は「学生への向き合い方も全く同じで、何をやりたいのか、相手の話や想いに耳を傾け、そして自分の意見を述べる。夢のある、やる気にさせることを話し合うのが大切だ」と述べた。もともと体育大学志望ではなかったという清原氏は、スポーツエリートが集う環境の中では、どれだけ努力しても「サボっている」と見られてしまうことを身を持って体験する。こうして清原氏の「学生たちを自分の感情で怒るのではなく言い聞かせる」という指導方針が生まれた。清原氏は「一つの物事でも上司と部下では違って見える」とも語った。

「できない子には怒らない」という清原氏だが、指導の厳しさに変わりはない。「なかなかできない生徒もいるが、最後にはできるようになる。生徒ができるようになるまで、リーダーや指導者が待てるかにかかっている。指導には根気と勇気が要る」という。

最後に清原氏は「集団行動の目的は、エンターテイメントではなく、個々の力を一つにまとめ、同じベクトルに向かわせるための訓練だ。会社などの組織は、大きくなればなるほど、個々の意思よりも全体の統一された意思が重要視される。もし、各々が自分勝手な意思で動けば、たとえ小さな組織でも、会社としての力を十分に発揮することができず、組織として機能しなくなる。結果を残すとか実行するということは、中途半端にやっつけてはいけぬ。突き抜けてやり通すことだ」と述べた。

(引用:週刊ブロック通信 記事原稿)

## 3. 春季研修会 (115名が参加) 6月16日 9:00~14:00

- ・ 8:30~受付
- ・ 9:00~9:10 運営(新、旧)・商品開発委員会委員長 挨拶 10分
  - ・ 永井、武井運営委員長
  - ・ 新田商品開発委員長
- ・ 9:10~9:30 プロジェクトの報告 (NEP-Think、技術懇談PJ) 20分
  - ・ 見谷PJリーダー
  - ・ 松浦PJリーダー 様
- ・ 9:30~10:30 i-Construction コンクリート生産性向上協議会の報告 60分
  - (一社)全国コンクリート製品協会 コンクリート生産性向上対策PJリーダー 永井 義行 様
  - 同協会 副会長 技術担当理事 大月 隆行 様

|                   |   |      |
|-------------------|---|------|
| ・ 10 : 30～10 : 45 | (休 憩) コーヒーブレイク  | 15 分 |
| ・ 10 : 45～11 : 15 | コンクリートライブラリ 148 号・条件明示要領書についての報告<br>(一社)全国コンクリート製品協会 技術委員会 委員 星田 典行 様 | 30 分 |
| ・ 11 : 15～11 : 25 | 新規取扱商品紹介の手順とお願い   | 10 分 |
| ・ 11 : 25～11 : 45 | NEPアーチの開発状況の報告  | 20 分 |
| ・ 11 : 45～12 : 00 | 海外視察研修会の概要説明と募集案内   | 15 分 |
| ・ 12 : 00～12 : 50 | (昼 食) B1 中国料理 四川  | 50 分 |
| ・ 12 : 50～13 : 30 | 外国人研修制度の業界対応について<br>(一社)全国コンクリート製品協会 前総務委員会 委員長 石川 利勝 様               | 40 分 |
| ・ 13 : 30～13 : 40 | 基幹商品の再実施等許諾契約書の締結について   | 10 分 |
| ・ 13 : 40～14 : 00 | 春季資材アンケート結果報告&働き方改善事例紹介   | 20 分 |
| ・ 14 : 00         | 閉 会   |      |

以上の内容で春季研修会を閉幕した。

盛り沢山の内容かつ会員各社の絶大なご協力のおかげで充実した研修会となった。

また資材アンケート調査では他に類を見ない 100%の回答率であり、NEP 工業会会員社の熱意を感じ、春季研修会を終えることが出来た。



平成 29 年度 NEP 工業会 秋季研修会の予定

○ 日 時 平成 29 年 11 月 16 日 (13 : 00～ ) 17 日 (9 : 00～ )

○ 会 場 東海大学校友会館 (霞が関ビル 35 階) で開催します。  
(現場視察を企画する予定です。)

以上